

松江市における交通需要マネジメント施策の取り組み状況について

建設省 松江国道工事事務所 ○ 江角 忠也
 “ “ 山内 和則
 松江市 企画 財政 部 松本 純一

1. はじめに

近年の道路交通施策は、交通需要と交通容量とのバランス調整をベースに解決策を見いだしてきたところであるが、平成5年度から建設省において「新渋滞対策プログラム」の中で「交通需要マネジメント」の導入の提示をしており、全国の都市においても「交通需要マネジメント施策」の導入について検討がなされ、施策が実施されているところである。

中国管内の島根県松江市においても、「交通需要マネジメント施策」の導入検討がなされ、施策が実施されているところであり、その取り組み状況等について報告を行うものである。

2. 松江市の交通特性

(1) 道 路

○市街地へつながる主要道路では、交通量が19,000～32,000台/24h、混雑度が1.2～2.2程度となっている。

特に、大橋川断面での容量不足が著しい状況にある。

○主要交差点においては、朝は7:30～9:00、夕方は17:30～18:45の間で慢性的な渋滞が発生している。

○主要交差点における、渋滞方向の交通の約半数は都心部への交通である。

(2) 鉄 道

○JR3駅における利用者は、年間230万人前後でほぼ横ばい状況である。

○一畑電鉄6駅における利用者は、平成5年までは約60万人程度にまで減少していたが、平成6年、平成7年には約70万人まで増加している。

(3) バ ス

○市営バスの利用者は、年間約300万人程度で、多少ではあるが年々増加傾向にある。

○その他、一畑バスが運行しており、年間500万人程度の利用があるが、近年利用状況は減少傾向にある。

(4) 通勤・通学時の交通手段別分担率

○自動車への依存率が非常に高い状況にある。

・自動車のみの利用・・・54％ ・徒歩・自転車のみの利用・・・26％
 ・公共交通機関利用・・・10％ ・その他・・・10％

3. 交通需要マネジメント施策の検討状況

○松江市総合交通体系検討委員会〔平成8年6月～平成9年2月〕

・交通渋滞緩和対策部会、公共交通活性化対策部会、既存公共交通ネットワーク改善対策部会の3部会で具体的な施策について検討し、松江市総合交通体系整備指針を策定し松江市長へ提言。

○松江市交通渋滞緩和対策会議〔平成9年6月～〕

・ノーマイカーデーの推進、公共交通機関等の利用促進、時差通勤・フレックスタイムの導入、相乗りの推進等の方策への取り組み

○宍道湖水上交通推進協議会〔平成9年7月～〕

・松江市と出雲空港を連絡する水上交通の実現に向けての検討

○松江市総合交通施策連絡会議〔平成10年2月～〕

・松江市道路交通施策の事業推進

4. 交通需要マネジメント施策の実施内容及び問題点

施策名	実施内容	問題点
ノーマイカーデー	平成7年9月から毎月1日、平成9年8月から毎月1日、20日に実施	・組織的な協力が得られていない。 ・支援施策の知名度が低い
P & B R 駐車場 (観光対応)	平成9年2月からレイクラインのルートに2箇所設置	・観光客へのP R不足等からP & B R的に利用されていない。
P & R 駐車場 (民間)	J R 東松江駅、J R 乃木駅、J R 穴道駅 津ノ森駅、秋鹿駅、一畑口駅	・乗り継ぎが不便、運行本数が少ない等からP & R的に利用されていない。
南北循環バス	平成9年2月から料金200円均一で実施 平成9年9月からノンステップバス2台導入	・利用者は50,000人/月程度 ・利用者が沿線住民に限られている。 ・自家用車からの転換が少ない。
バス優先レーン	一般国道9号をはじめ5箇所規制	・連続性がない。
バス専用レーン	県道母衣町雑賀線の松江大橋区間1箇所規制	・一般車両が混入し、走行性が損なわれている。 ・連続性がない

5. 交通需要マネジメント施策の今後の検討方向

(1) 既存施策の今後の展開方法

施策名	検討方法
ノーマイカーデー	事業所及び組織への啓発、シンポジウムの開催
P & R 駐車場 (観光対応)	マイカー観光客の公共交通への転換支援方策 (P & R 駐車場の知名度の向上策等) 地図への記載
南北循環バス	運行便数・時間帯・ルート、乗り換え等、バスへの転換支援方策の検討、バスロケーションシステムの導入
バス優先レーン	バスの走行性向上策 (レーンの延長等)

(2) 新たな施策の今後の展開方法

施策名	検討方法
時差通勤	時差通勤セミナーの開催、行政への先行的導入
P & R 駐車場 (通勤対応)	駐車場設置場所の選定、利用推進方策 (低料金、乗り換え利便性の向上策等) 住民への情報提供方策
P & B R 駐車場	駐車場設置場所の選定、利用推進方策 (低料金等、乗り換え利便性の向上策等)
C & B R 駐車場 (通勤対応)	駐輪場設置場所の選定
道路交通情報の提供	渋滞状況、事故、道路状況等の道路交通情報提供の充実方策

6. 終わりに

「松江市総合交通体系整備指針」の基本理念である「住む人・訪れる人にやさしい交通体系の実現」を推進するため、既存施策を効果的に機能させることが重要であるとともに、新たな施策のうち時差通勤を行政の先行的導入などにより、一層効果的な交通需要マネジメント施策として実現することが可能となる。また、これらの施策の継続的な検証を行いながら対策会議を中心に、より一層の検討を進めていくものである。